

鳥獣害対策要約

書類番号 No. 2205XXX

地区名 徳島県那賀町●●地区

依頼者 那賀川ナカ様 | ユズ農家

栽培作物 ユズ | 商用作物

対策期間 2022年5月22日～

被害の転帰 | ほぼなし 軽減 大きい 深刻

シカによるユズの被害対策

【主訴】 シカによるユズの被害の軽減

【相談理由】 シカの進入路の解明・対策手法の把握

【現被害暦】

2022年5月20日 聞き取り調査および現地調査

att. 那賀川氏（依頼者）、吉田（獣害研）

@ 自宅に隣接するユズ園に

- ・シカとノウサギによる、ユズの枝葉への食害が発生。
- ・補助金を使って3年前に防護柵を張ったところ、被害が止まっていたが、しばらくしたらシカによる被害が再発した。

【調査所見】

2022年5月20日 聞き取り調査および現地調査

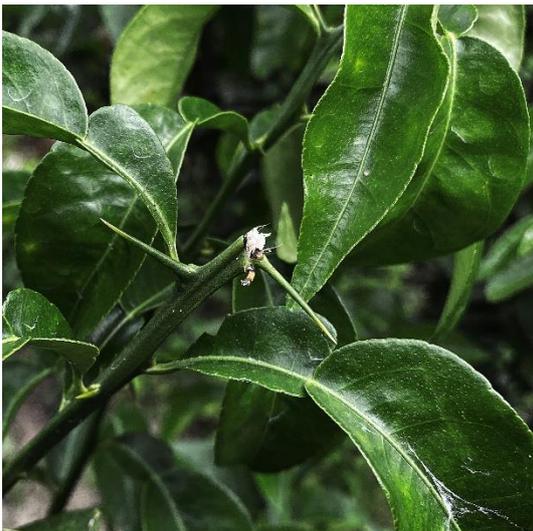
- ・柵の周りには外周・内周ともに、草刈りがなされており、柵をこまめに管理している様子がうかがえる。
- ・柵内に、シカの糞とユズへの食痕を視認。
- ・金属柵が全周にわたって設置されている。
- ・柵の高さが全体的に約1.5mと低い。特に出入口は約1.2mと顕著に低く、シカの進入が可能（可能性高い）。
- ・出入口の下部は結束が緩く、シカが出入りできる状態であった（可能性低い危険）。
- ・柵の最上部が、獣道のついた石垣の下に設置されている。隣の上の段（地権者は別）からの高さが低く、シカは容易に飛び込むことができ、かつ着地跡も残っていた（可能性高い）。さらに、地際の結束が緩いため、シカは柵の下をくぐって入ることもできる（可能性低い危険）。



石垣の下に設置された防護柵



出入口下部の隙間



ユズに残るシカの食痕



柵内に残る新鮮なシカの糞

問題リスト

- #1 石垣の下に設置された防護柵の高さ不足、地際の間隙
- #2 防護柵の出入口の高さと強度が低い、地際の間隙
- #3 全体的に防護柵の高さが低い

【対策プラン】

Tx) 根治対策

- ・ 防護柵の高さのかさ上げ。
- ・ 出入口の改良。扉を2枚にし、ワイヤーメッシュの縦横を変え高さを増し、鉄筋等で地際をロックできるようにする
- ・ 石垣の下の柵は、①地権者と交渉して石垣の上の段に移設する、②耕地を減らし石垣から離れた場所に移設する、③柵の高さを上げる、の3案のうち、いずれかを行う。

Ex) 説明

- ・ 依頼者と妻に、現場にて痕跡を見ながら防護柵の突破原因と対処方法を説明。時間があるときに、優先順位の高い箇所から防護柵を改修することに同意した。

記載者 | 氏名 (所属・役職)

吉田洋 (獣害対策研究所・所長)
